

勇気

R6.12.24 発行
校長：種吉 信二

2学期終業式

本日、2学期の終業式を行いました。終業式で生徒に話した内容の一部を紹介します。

令和6年度の学校の目標を覚えていますか。そうです。「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」です。2学期は授業や行事の中でこの目標を意識した行動が随所に見られ、大変うれしく思います。

おおとり祭では2、3年生が太鼓山に挑戦しました。近年まれにみる暑さが続く中、稽古や本番では、仲間のために手を抜かず頑張る姿が常にありました。生徒会役員選挙では、多くの生徒が学校をもっと良くしたいという思いで立候補しました。この5年間で最も多くの生徒が意思表示をしてくれました。多分、他の中学校においてもこんなに学校のために頑張ろうという生徒の姿が見られることはないと思います。保体部のEnjoy sports dayの取組では、学年や性別の垣根を越えて交流がはかられていました。今年の生徒会のスローガンの「長中 more スマイル」の実現に迫る取組だったと思います。3年生のリーダーシップがいかに発揮されていました。単元内自由進度学習では、学習の順序選択や課題選択を生徒の皆さんに委ねる授業を展開しました。どの教科においても自ら学ぶ姿勢がたくさん見られてよかったと思います。**挑戦し努力する姿勢が高まっている**ことが感じられました。

そんな挑戦を続ける皆さんに、冬休みを前に「西瓜泥棒」という話をしたいと思います。

（西瓜泥棒）

ある夏の夜、農家の婦人が幼き子を連れてわが家へ帰る際、畑に熟した西瓜が坊主頭の並ぶがごとく連なっているのを見た。月は澄み、まるで昼のようではあったが、人通りのない、夜中の田舎道のこと、婦人はふと良からぬ心を起こした。たくさんある西瓜の一つばかりを盗ったとしても分かりはしまい。

そう思った婦人は子を見張り番に立たせ、畑の中に入って、一番大きな西瓜に手を伸ばそうとした。しかし、なんとなく良心がとがめるような心持がして、止めておこうと思ったが、誰に知られることもないからと再び手を伸ばそうとした。

念のためにと、見張り番をさせている子に声をかけて「誰も見ていないか」と聞いたところ、子どもは言った。

「お母さん大丈夫だよ。お月様の他は誰も見ていないよ」

この一言に婦人は震え上がるほどに良心の痛みを感じ、恐怖を抱きながら子のそばに駆け寄った。

「おお、よう言ってくれた。誰も見ていなくても、神様には見られているのだった。浅ましい出来心から取り返しのつかない罪を犯すところだったが、お月様が見ているとお前が言ってくれたおかげでこの罪を免れた。お前は天の使いである」

そう言って婦人は子を抱き上げて、接吻した

さあ、婦人はなぜ悪事を思いとどまることができたのでしょうか。それは幼き子からの「お月様以外は誰も見ていない」という一言にハッとさせられたからです。本当に月以外誰も見ていなかったのでしょうか。そうではありません。自分の幼き子はこれから西瓜を盗ろうとする婦人の姿を見えています。幼き子というのは何を表しているのでしょうか。それは、人は生まれながらにして善であり、誰もがよりよく成長したいと考えていて、誰もが持っている良心を表しているのではないのでしょうか。婦人の良心そのものであるとも考えられます。

「一つぐらいなら大丈夫。誰も見ていないさ。みんなやっているから」と悪事への誘惑は耳元で囁きます。ここで踏みとどまれるかどうか。一つ盗れば、二個、三個盗るのも同じだと悪事はさらにエスカレートしていきます。**悪事への誘惑と良心の戦いは最初が肝心です。**人はよりよく成長したいという意志と様々な誘惑の間で揺れています。より良い成長のために「自分のためにいいことはするけど悪いことはしない」という意志を貫いていきたいものです。この冬休みもよりよく成長したいという思いをさらに育ててください。

冬休み中の学校の連絡などについて

○学校閉庁日

12月28日(土)～1月5日(日)

○3学期のはじまり

1月8日(水) 通常登校 12:15下校

身体測定(体操服の準備)があります。

給食、部活動ともありません。

○学校への連絡 TEL095-822-3604

※職員不在の際(緊急) e-mail: 05chochu@gmail.com